

## 令和6年度 学校評価 自己評価書 (1学期)

## 1 学校経営の重点

- ① 生徒主体の授業実践と自律的な家庭学習の推進 (学習の自立)
- ② 自己指導能力と自己有用感を高める取組の推進 (生活の自立)
- ③ 生涯にわたり、スポーツに親しみ、心身の健康の保持増進を図っていく態度の育成
- ④ 人権を尊重し、困難にも諦めずに取り組む心や自他を大切にすることを育む指導
- ⑤ 社会的・職業的自立に向け、様々な役割や進路について考えさせる指導の充実 (社会の自立)
- ⑥ 信頼される教職員・学校をめざした取組及び業務・職場環境改善の推進
- ⑦ 学校運営協議会を中心に据えた地域とともにある学校づくりと鶴岡第二中 (兄弟校) との交流をとおした地域を誇りに思う教育の推進

## 2 課題と改善策

※ 評価は職員による4段階評価の平均

	評価項目	評価	状況及び改善の方向
重点 ①	1 「確かな学力」の定着に向けた授業改善, 主体的学習態度を育む指導に取り組んでいる。	3.0	・ タブレット端末を家庭学習でも活用させ, 学習習慣の確立にもつなげていきたい。
重点 ②	1 時や場所を考えて適切に判断し, 行動できる力を育てている。 2 自己有用感を高めるために, 生徒の良さを認めたり相談にのったりしている。	2.7 2.9	・ 学級専門部員が授業開始2分前着席を呼び掛けるなど生徒会が主体となった活動を続けている。2学期も生徒会と一緒に取り組んでいく。 ・ 不登校生徒には, 学習支援員紹介やSSWとの連携を行ったり, 市及び県のSCとの面談を勧めたりしている。
重点 ③	1 安全意識を高め感染症対策も含めて心身の健康を育む指導に取り組んでいる。	3.0	・ 感染対策として手洗い等を励行している。酷暑が続いている中, エアコンの故障が発生したため登下校時の服装等について, 弾力的な運用を行った。各学級にサーキュレーターを入れて空気循環も行なっている。
重点 ④	1 自他を大切にし, 困難にもあきらめない心の育成に取り組んでいる。	2.8	・ いじめは, アンケート結果等から全学年で発生している状況がある。被害等の状況はすぐに学年全体で情報共有し, 保護者とも連携しながら学年全体や生徒指導部会で解決への協議を進めている。

重点 ⑤	1 一人一人の進路目標に応じた指導に取り組んでいる。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年の履修すべき内容は計画通り学習できている。</li> <li>・ キャリアパスポートの活用を今年度も計画的に進めていきたい。</li> </ul>
重点 ①	1 教育の情報化に取り組み、ICT を効果的、効率的に活用している。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレットを活用した指導を進めているが、ネット環境に課題もあるため学年や全校で一斉に使用する際は、時間をずらすなど工夫している。CBT への対応も考慮して、さらに使用場面を増やしていきたい。</li> </ul>
重点 ⑥	1 教職員としての自覚と責務をもち、日々の教育活動に取り組んでいる。 2 教職員個々の業務改善の取組である、「1Try」は実践している。	3.4 2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上に向けて、研究授業での協議や学力検査分析を生かした指導を充実させていく。</li> <li>・ 勤務時間外勤務45時間以内は7割以上の職員が達成している。生徒指導上の問題対応等により時間外勤務が多くなった時期もあった。</li> </ul>
重点 ⑦	1 地域の特色や人材・施設を生かした教育活動を行っている。	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験学習を実施し、生徒は3日間地域の事業所で学ぶことができた。</li> <li>・ 地域行事では、地域の夏祭りや行事にボランティアとして生徒が活躍している。</li> </ul>

### 3 2学期に向けての取組

- (1) 体育大会や文化祭等の学校行事では、生徒の自尊感情や協力性を向上させるために、生徒会が主体となって活動できる場面を作りながら取り組んでいきたい。
- (2) 生活習慣の向上に向けては、生徒会が主体となり、教職員と力を合わせて取り組んでいきたい。
- (3) 学力向上に向けて、研究授業や学力検査分析を生かした指導を充実させるとともに、タブレット端末の活用を推進し、家庭学習の習慣化を推進していきたい。  
また、進路目標を具体的に設定させることにより、学習意欲の喚起を図りたい。